



ALLIANCEBERNSTEIN®

月次報告書

## ABケイマン・トラスト エマージング・ボンド・ファンド

ケイマン籍オープンエンド契約型 公募外国投資信託/追加型

### 円建一円ヘッジクラス ファンドの投資目的

ファンドは、ABケイマン・マスター・トラスト・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオ(以下「投資対象ファンド」といいます。)に対する投資を通じて米ドル建の新興国の国債、政府保証債、政府機関債および社債等の債券\*を実質的な主要投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンの最大化を追求します。

\*新興国の国債、政府保証債、政府機関債および社債等の債券を以下「エマージング債券」といいます。「新興国」には、(i)JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル、JPモルガン・コーポレート・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックスまたはMSCIフロンティア・マーケット・インデックスに含まれる国および(ii)世界銀行分類の高所得国を除く国が含まれます。

### プロフィール\*\*

ファンド国籍:ケイマン諸島

設定日:2013年1月16日

決算日:毎年9月30日

純資産総額:3,185万米ドル(概算35億円)

(株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値を使用。1米ドル=111.00円、2018年12月28日現在)上記は全クラスの合計となっております。

換金(買戻):ファンド取引日

【「ファンド取引日」とは、ニューヨークにおける各銀行営業日および日本における各銀行営業日である「ファンド営業日」をいいます。なお、管理会社が別途「ファンド営業日」を決定する場合もあります。】

表示通貨:円

平均デュレーション:5.65年

平均格付け:BB

直接利回り:6.70%

### 資産別投資状況\*\*

| 資産の種類     | 比率     |
|-----------|--------|
| 債券        | 93.80% |
| 現金(負債控除後) | 6.20%  |
| 合計        | 100%   |

### ファンド情報に関するご留意事項

※過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。

※ファンドの正式名称は「ABケイマン・トラスト・エマージング・ボンド・ファンド(外貨建)」ですが、円建一円ヘッジクラスに係るファンドの愛称として、「(外貨建)」を省略し、「ABケイマン・トラスト・エマージング・ボンド・ファンド」を使用することがあります。

※当資料はファンドの組入証券を推奨するものではありません。

※アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー算出の運用実績には純資産価格の変動が反映され、上記の期間に分配されたファンドの収益分配金は全額再投資(税引前)されたとして計算しています。

※組入れ上位10銘柄およびファンド構成は、組入債券評価額(除く現金等)を100%として計算しています。

※2018年3月31日以降、日本においてファンド証券のお申込みのお取扱いはありません。ご換金(買戻し)のお取扱いはのみとなります。

\*\*出所:アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー

### ファンド構成\*\*

#### セクター別構成比率

| セクター  | 比率      |
|-------|---------|
| 国債    | 65.06%  |
| 社債    | 19.34%  |
| 政府機関債 | 15.61%  |
| 合計    | 100.00% |

#### 通貨別構成比率

| 通貨  | 比率      |
|-----|---------|
| 米ドル | 97.68%  |
| ユーロ | 2.32%   |
| 合計  | 100.00% |

#### 国別構成比率

| 国別     | 比率      |
|--------|---------|
| アルゼンチン | 5.17%   |
| ブラジル   | 5.14%   |
| インドネシア | 5.00%   |
| トルコ    | 4.98%   |
| メキシコ   | 4.63%   |
| ナイジェリア | 3.93%   |
| ウクライナ  | 3.92%   |
| その他    | 67.23%  |
| 合計     | 100.00% |

#### 格付別構成比率

| 格付     | 比率      |
|--------|---------|
| BBB格以上 | 32.76%  |
| BB格    | 20.70%  |
| B格     | 39.32%  |
| CCC格以下 | 7.23%   |
| 合計     | 100.00% |

※格付けは、S&P、Moody'sのうち、高い方の格付けを採用しています。(表記方法はS&Pに準拠)。ファンドの信用格付けを表示しているものではありません。

### 組入れ上位10銘柄

| 銘柄名                                  | 比率     |
|--------------------------------------|--------|
| 1 イクアトル国債 10.750%、(03/28/22)         | 2.46%  |
| 2 ロシア国債 4.750%、(05/27/26)            | 1.97%  |
| 3 ガボン国債 6.375%、(12/12/24)            | 1.95%  |
| 4 オマーン国債 4.750%、(06/15/26)           | 1.74%  |
| 5 サジアラビア国債 3.250%、(10/26/26)         | 1.71%  |
| 6 ベルサハーン・リストリク・ネガラ 5.450%、(05/21/28) | 1.63%  |
| 7 コートジボアール国債 6.625%、(03/22/48)       | 1.41%  |
| 8 エスコム・ホールディングス 5.750%、(01/26/21)    | 1.34%  |
| 9 インドネシア国債 5.125%、(01/15/45)         | 1.31%  |
| 10 イクアトル国債 10.500%、(03/24/20)        | 1.26%  |
| 合計                                   | 16.77% |

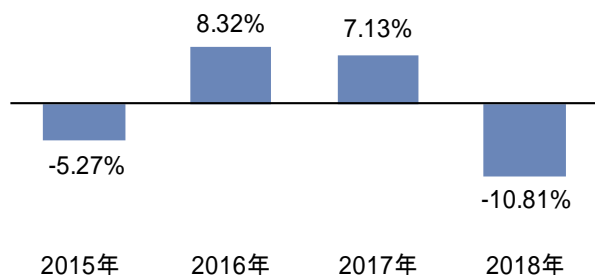
## エマージング・ボンド・ファンド 円建-円ヘッジクラス

### 運用実績

#### 年率換算\*

|    | 1年      | 3年    | 5年    | 10年 | 設定来    |
|----|---------|-------|-------|-----|--------|
| 円建 | -10.81% | 1.15% | 0.33% | -   | -1.05% |

#### 年初来騰落率\*



#### 累積総合リターン\*

|    | 1ヵ月   | 3ヵ月    | 6ヵ月    | 1年      | 設定来    |
|----|-------|--------|--------|---------|--------|
| 円建 | 0.43% | -3.28% | -2.40% | -10.81% | -6.07% |

#### ポートフォリオ情報 2018年12月31日現在 円建-円ヘッジクラス\*

|   | 純資産価格 | 純資産総額 |
|---|-------|-------|
| 円 | 7,680 | 6億**  |

\*\*社内データに基づきます。

#### 純資産価格及び純資産価格 (分配金(課税前)再投資)の推移

円建-円ヘッジクラス(日次ベース)



注)上記の純資産価格(分配金(課税前)再投資)は上記の期間に分配されたファンドの収益分配金が全額再投資(税引前)されたとして計算しています。

### 分配実績

| 分配基準日      | 分配金 | 分配基準日       | 分配金 |
|------------|-----|-------------|-----|
| 2018年1月16日 | 25円 | 2018年7月17日  | 25円 |
| 2018年2月15日 | 25円 | 2018年8月15日  | 25円 |
| 2018年3月15日 | 25円 | 2018年9月18日  | 25円 |
| 2018年4月16日 | 25円 | 2018年10月15日 | 25円 |
| 2018年5月15日 | 25円 | 2018年11月15日 | 25円 |
| 2018年6月15日 | 25円 | 2018年12月17日 | 25円 |

注)分配金は1口当たりの課税前分配金額になります。運用状況によっては分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

### 純資産価格掲載場所

アライアンス・バーンスタイン株式会社  
 ホームページ [www.alliancebernstein.co.jp](http://www.alliancebernstein.co.jp)

### ファンド情報に関するご留意事項

※過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。

※当資料はファンドの組入証券を推奨するものではありません。

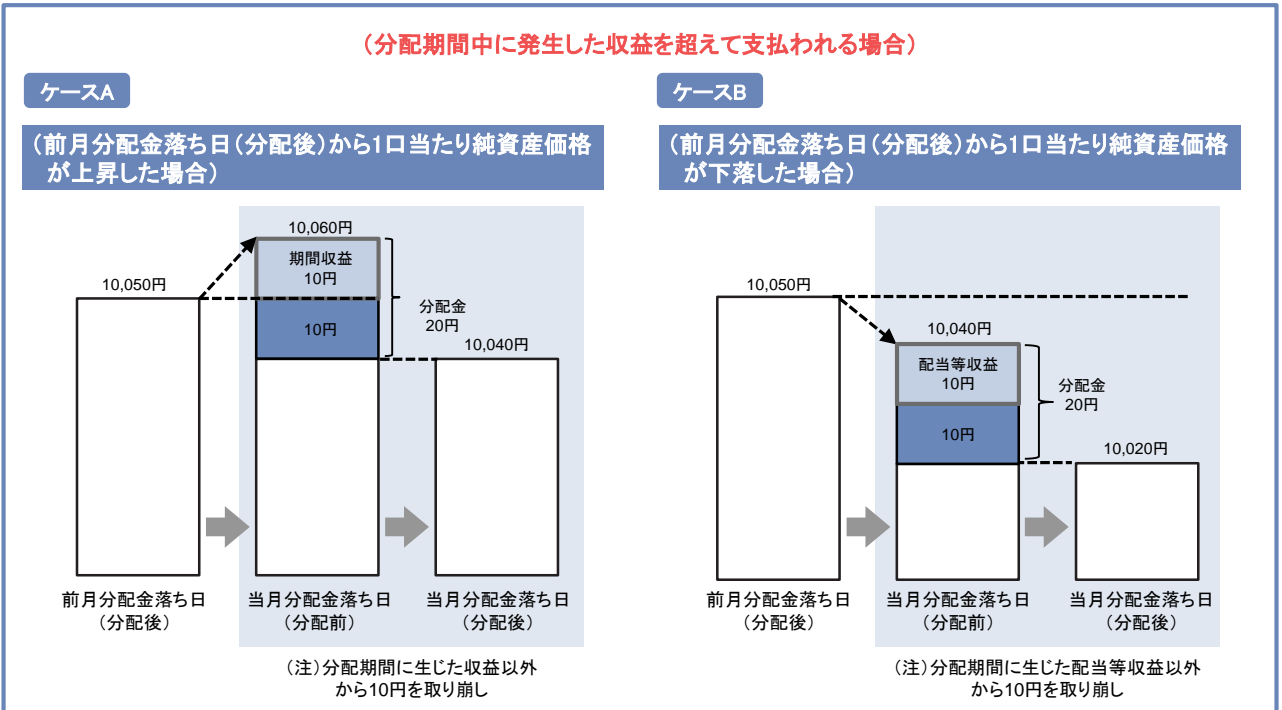
※アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー算出の運用実績には純資産価格の変動が反映され、上記の期間に分配されたファンドの収益分配金は全額再投資(税引前)されたとして計算しています。

\*ファンドの設定日:2013年1月16日。

- + 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、1口当たり純資産価格は下がります。



- + 分配金は、分配期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります。その場合、分配金落ち日の1口当たり純資産価格は、前月分配金落ち日の1口当たり純資産価格と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも分配期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ※「分配期間」とは、ある分配金落ち日から翌月の分配金落ち日までの期間をいいます。なお、分配金落ち日とは、分配基準日（原則毎月15日とし、15日がファンド営業日ではない場合は翌ファンド営業日とします。）の翌ファンド営業日をいいます。



(注) 分配金は、分配方針に基づき支払われます。

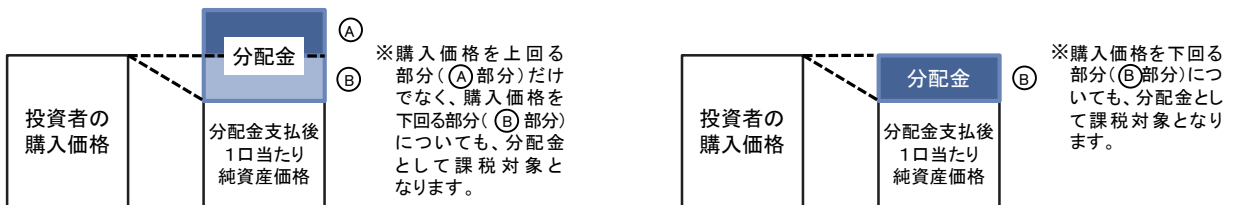
※上記はイメージであり、実際の分配金額や1口当たり純資産価格を示唆するものではありませんのでご注意ください。

投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「ファンドの受益証券の1口当たり純資産価格の増減額」の合計額でご判断ください。

- + 投資者のファンドの受益証券の購入価格によっては、以下のとおり、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より1口当たり純資産価格の値上がりりが小さかった場合も同様です。この場合においても、元本の一部払戻しに相当する部分は、分配金として課税対象となります。

**(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)**

**(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)**



(注) 分配金に対する課税については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## ファンドの主な投資リスクについて

### 受益証券1口当たり純資産価格の変動要因

ファンドは、その受益証券1口当たりの純資産価格が、組み入れられる有価証券等の値動き等の影響を受けて下落または上昇することがある外国投資信託であり、元本保証のない金融商品です（投資信託は預貯金とは異なります）。それゆえ、ファンドへの投資により、損失を被ることがあり、投資金のすべてを失うこともあります。ファンドへの投資にはリスクが伴い、ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。

ファンドの主なリスク要因は、次のとおりです。

#### 【為替変動リスク】

円建－円ヘッジクラスは、ファンドの基準通貨である米ドルと表示通貨である円との間の為替レートの変動による影響を減らし、米ドル建てのリターンとより密接に連動するリターンを提供することを目的とするため、為替ヘッジにより、円・米ドル間の為替エクスポージャー（米ドル建資産を保有することによって、米ドルの為替変動リスクにさらされている資産の度合いをいいます。）の低減に努めますが、かかる為替ヘッジが完全に有効であるとの保証はありません。通常、米ドルの短期金利が円の短期金利より高い場合は、金利差相当分のヘッジコストがかかります。

#### 【信用リスク】

ファンドが投資する債券の発行体について、支払債務その他の債務が履行されない場合（債務不履行）、当該発行体の財務状況が悪化する場合、または信用格付けが格下げになる場合があり、このような事由は、ファンドの純資産価額が下落する要因となります。

また、ファンドは、投資適格未満または格付けはされていないものの同等の信用力にとどまる高利回りの高リスク債券に投資することがあります。このような債券は、一般に「ジャンク債」と呼ばれ、高格付けの債券よりも元本および利息の支払いについて重大な損失を被るリスクがあり、また、景気後退期間または金利上昇期間においては、発行体による利息または元本の支払いができなくなる（債務不履行となる）可能性が上昇します。

#### 【金利変動リスク】

ファンドの受益証券の価格は、その投資対象の価値とともに変動します。債券の投資価値は、一般的な金利水準の変動に応じて変動します。金利低下時は、債券の価格は一般的に上昇しますが、金利の低下が景気後退の前兆とみなされる場合には、ファンドの保有する証券の価格は金利の低下とともに下落することがあります。逆に、金利上昇時は、債券の価格は、一般的に下落します。

#### 【新興国市場リスク】

新興国市場（エマージング・マーケット）の発行体が発行する証券に対する投資には、発達した市場の発行体が発行する証券に投資することに通常伴うリスクに加え、以下の重大なリスクを伴います。

- (i) 取引高が少なくまたは取引が生じないことにより、発達した資本市場において同等の発行体が発行する証券に比べて、流動性が失われ、また値動きが大きくなること。
- (ii) 国家政策の不確実性および社会・政治・経済情勢の不安定により、資産収用、没収的課税、高インフレ率または外交関係の悪化等の事態が生じる可能性が増大すること。
- (iii) 為替レートが変動しうること、投資対象に適用される法制度が異なること、および為替管理、保管上の制約その他の法律・規制が存在しまたは今後課せられる可能性があること。
- (iv) 国益に影響を及ぼすものとみなされる発行体または産業に対して課せられる投資上の制限等、ファンドの投資機会の制約につながる国家政策が実行されうること。
- (v) 民間・外国投資、および私有財産に係る法整備が欠如しているか、または未整備であること。

## ファンドメモ

【換金(買戻)単位】 1口単位

【換金(買戻)価格】 ファンド取引日に、受益証券の換金(買戻し)のお申込みを行うことができます。換金(買戻し)のお申込み後、管理事務代行会社に申込注文が受け付けられた最初のファンド取引日において決定される受益証券1口当たり純資産価格を、換金(買戻)価格とします。  
※ご換金(買戻し)は「ファンド取引日」に限られます。  
※「ファンド取引日」とは、ニューヨークにおける各銀行営業日および日本における各銀行営業日である「ファンド営業日」をいいます。ただし、米ドル建—ブラジルリアルクラスおよび豪ドル建—ブラジルリアルクラスの受益証券に関する換金(買戻し)のお申し込みについては、サンパウロの銀行またはブラジルの先物市場が休業日である場合には受け付けられません。なお、管理会社が別途「ファンド営業日」を決定する場合もあります。

【換金(買戻)代金】 国内約定日から起算して原則として4国内営業日目に、換金(買戻)代金をお支払いいたします。  
※ここでの「国内約定日」とは、販売会社が換金(買戻)注文の成立を確認した日をいいます。通常、お申込みの翌国内営業日となります。

【申込締切時間】 販売会社における換金(買戻し)の申込受付時間は、原則として、午後2時30分(日本時間)までとします。販売取扱会社(販売会社を除きます。)における申込受付時間は、当該各販売取扱会社によって異なる場合があります。

【換金(買戻)制限】 管理会社は、ファンド取引日において、ファンドの発行済受益証券の10%超の買戻請求を受領した場合には、受益証券の買戻しを制限することができます。

### 【換金(買戻し)の受付の中止および停止】

以下の期間の全部または一部において、受益証券の買戻しを停止し、または買戻代金の支払期間を延期することがあります。

- (i) ファンドの投資対象の主要な部分について、上場、マーケット・メイク、取引もしくは取扱いがなされている証券取引所、商品取引所、先物取引所もしくは店頭市場が閉鎖され(慣習上の週末および休日による休業日である場合を除きます。)またはかかるいずれかの取引所もしくは市場での取引が制限もしくは停止がなされている期間
- (ii) ファンドが投資対象を処分することが合理的に実行することができないと管理会社が判断する状況またはかかる処分により受益者に対して重大な損害を及ぼし得る状況が存在する期間
- (iii) 投資対象の価値もしくはファンドの純資産価額の評価に通常用いられる手段に障害が発生したことまたはその他の理由により、投資対象その他の資産の価値もしくはファンドの純資産価額を合理的もしくは公正に評価することができないと管理会社が判断する期間
- (iv) ファンドの投資対象の換金(買戻し)またはかかる換金(買戻し)に伴う資金の移転が、通常の価格または通常の為替レートで実行することができないと管理会社が判断する期間

【償還日】 ファンドは、平成34年1月31日に終了する予定です。  
ただし、管理会社が、受託会社と協議の上、受益者の利益のためと判断した場合には、事前にファンドを終了させることがあります。

【決算日】 毎年9月30日

【分配】 原則、毎月15日(15日がファンド営業日ではない場合には、その翌ファンド営業日)を分配基準日として、分配を宣言します。  
分配は、販売取扱会社を通じて投資者に対して、分配基準日(同日を含みます。)から起算して原則として7国内営業日目に降に支払われます。

### 【課税上の取扱いについて】

課税上は公募外国株式投資信託として取扱われます。  
ただし、将来における税務当局の判断によりこれと異なる取扱いがなされる可能性もあります。

## お客様にご負担いただく費用

### 投資者が直接的に負担する費用

#### 【換金(買戻)手数料】

購入後4年未満の期間にご換金(買戻)される受益証券について、ご換金時の価格に以下の料率を乗じて得た額をご負担いただきます(条件付後払申込手数料)。

| 受益証券の購入後の経過年数 | 条件付後払申込手数料 |
|---------------|------------|
| 2年未満          | 3.5%       |
| 2年以上3年未満      | 2.0%       |
| 3年以上4年未満      | 1.0%       |
| 4年以上          | なし         |

(注) 条件付後払申込手数料の金額は、最も低い条件付後払申込手数料から優先して計算されます。すなわち、投資者は、ご購入後の経過年数がより長い受益証券から買い戻すものとみなされます。

### 投資者が信託財産を通じて間接的に負担する費用

#### 【管理会社報酬】

<管理会社として提供するサービス>  
純資産総額の年率**0.01%**  
<投資運用会社として提供するサービス>  
純資産総額の年率**0.19%**

#### 【受託会社報酬】

年間**10,000**米ドル

#### 【販売会社報酬】

純資産総額の年率**0.30%**

#### 【販売管理代行報酬】

純資産総額の年率**0.95%**

#### 【代行協会員報酬】

純資産総額の年率**0.05%**

#### 【その他費用・手数料】

その他費用・手数料として、設立費用、運営費用、組入れ有価証券の売買手数料、弁護士および会計士の報酬・費用、税金および行政関係諸費用、保管会社報酬、管理事務代行会社報酬、登録・名義書換事務代行会社報酬等を、ファンドを通じて間接的にご負担いただいております。  
以上のその他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

さらに、投資者は、投資対象ファンドであるABケイマン・マスター・トラスト・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオに係る手数料・報酬および費用を、以下のとおり、間接的にご負担いただくこととなります。

### ABケイマン・マスター・トラスト・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオ(投資対象ファンド)に係る費用

#### 【管理会社報酬】

<管理会社として提供するサービス>  
投資対象ファンドの純資産総額の年率**0.01%**(但し、年間50,000米ドルを上限額とします。)  
<投資運用会社として提供するサービス>  
投資対象ファンドの純資産総額の年率**0.75%**

#### 【その他費用・手数料】

その他費用・手数料として、受託会社報酬、管理事務代行報酬、保管会社報酬および取引手数料等の運営費用を含む、投資対象ファンドに関する手数料・報酬および費用等があります。  
これらの手数料・報酬および費用等の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※上記手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

## 関係法人の概要

- 【管理会社】 アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー  
ファンド資産の管理運用業務、受益証券の発行業務およびファンドの投資運用業務を行います。
- 【受託会社】 インタートラスト・トラスティーズ(ケイマン)リミテッド  
ファンドの受託業務を行います。
- 【保管会社／  
管理事務代行会社／  
登録・名義書換事務代行会社】 ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コー  
ファンド資産の保管業務、管理事務代行業務および登録・名義書換事務代行業務を行います。
- 【販売取扱会社】 東海東京証券株式会社  
金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号  
【加入協会】日本証券業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会／  
一般社団法人金融先物取引業協会  
ファンドの受益証券の換金(買戻し)の取扱業務を行います。
- ワイエム証券株式会社  
金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号  
【加入協会】日本証券業協会  
投資者からの受益証券の換金(買戻し)を販売会社に取り次ぐ業務を行います。
- 【代行協会員】 アライアンス・バーンスタイン株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号  
【加入協会】一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／  
日本証券業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
ファンドの受益証券の代行協会員業務を行います。

## ご留意事項

- ※ 当資料はアライアンス・バーンスタイン(AB)\*が信頼できると判断した情報に基づき、作成した月次報告書です。情報の正確性、完全性について保証するものではありません。当資料に掲載されている数値・図表等は特に断りのない限り当資料作成日現在で入手可能なものに基づいております。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益の獲得を示唆ないし保証するものではありません。\*アライアンス・バーンスタインおよびABIには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーおよびその傘下の関連会社を含みます。
- ※ 具体的な証券に対する言及は、特定の投資セクターに関する情報を提供する目的で、あるいはアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーの投資哲学の適用について説明する為に提示されており、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーによる推奨とはみなされません。示された上述の具体的な証券は、その時々でファンドによって保有されるかもしれませんし、あるいは保有されないかもしれません。
- ※ 当資料で要約された取引はファンドが購入、売却あるいは入替えを行った証券についての取引を表し、情報提供のみを目的として提供されています。記載された具体的な証券はファンドが購入あるいは売却した全銘柄を表すものではありません。表明された見解及び見通しはアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーの現在の見解のみを表し、一般的な市況だけでなくアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーが現在利用可能な情報も反映しています。当該見解は実証されないかもしれない多くの仮定を含んでおり、予告なく変更される場合があります。特定された証券への投資全てに利益が出ると見なされるべきではなく、また将来の投資に利益が出ないこともあります。
- ※ 将来の市場環境の変動等により、今後、運用方針を変更する場合があります。
- ※ 投資信託は預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ※ 2018年3月31日以降、日本においてファンド証券のお申込みのお取扱いはありません。ご換金(買戻し)のお取扱いはのみとなります。